

市政への「満足度」と

市では、行政上の課題や市民生活上の問題点について、市民の皆さんの声をお聴きし、市政に反映していくために、昭和48年度から毎年、市政アンケートを実施しています。今回も、道路整備・高齢者福祉・学校教育など市政各分野の満足度・期待を中心に お聴きし、多くの皆さんから回答をいただきました。本年度の結果のあらましとともに、「市民から求められている施策」の現状をお伝えします。

アンケートの概要

- 対象** 市内に在住する20歳以上の5,000人(無作為抽出)
- 実施期日** 平成24年8月20日～9月7日
- 回答数** 2,036人
(有効回答率：40.7%)

アンケートでは、「都市と環境が調和するまち」「いきいきと働ける集いと交流のあるまち」など6分野に分類した50施策についてそれぞれ「満足度」と「期待」をお聴きしました。今回は、昨年までのアンケート結果において、市民満足度が高かった「安全な水道水の安定供給」や「市立四日市病院の充実」などの施策を設問項目から外して設問項目を絞り込み、満足度の低い施策に焦点をあてて調査しました。

アンケートの結果

満足度が 高い施策	1位	ごみ減量・リサイクルの推進
	2位	検診・健康情報の発信
	3位	市内の緑を守り育てるための制度の充実
満足度が 低い施策	1位	自転車走行レーンの整備
	2位	移動しやすい道路網の整備
	3位	生活道路の整備
期待が 大きい施策	1位	災害に強いまちづくり
	2位	移動しやすい道路網の整備
	3位	介護保険施設サービスの充実

市民から求められる「道路への取り組み」

誰もが安全・快適に移動できる道路を目指して

アンケートでは自由に意見を書きいただける欄を設けました。そこでも、身近な道路の改修・維持管理



立体交差で渋滞解消(末永町)

(26件)、渋滞対策(24件)、歩道や自転車レーンの整備(24件)など、道路に関して多くのご意見をいただきました。これは、少子高齢化などの社会変化が進む中、車の視点だけではなく、歩行者や自転車も安全に移動できる道路整備が求められているものと受け止めています。

市では快適な市民生活や産業活動を支えるため、幹線道路の整備とともに、事業所税などを活用して道路の再舗装をするなど適切な維持管理にも努めています。

「期待」を伺いました

期待!!

満足?



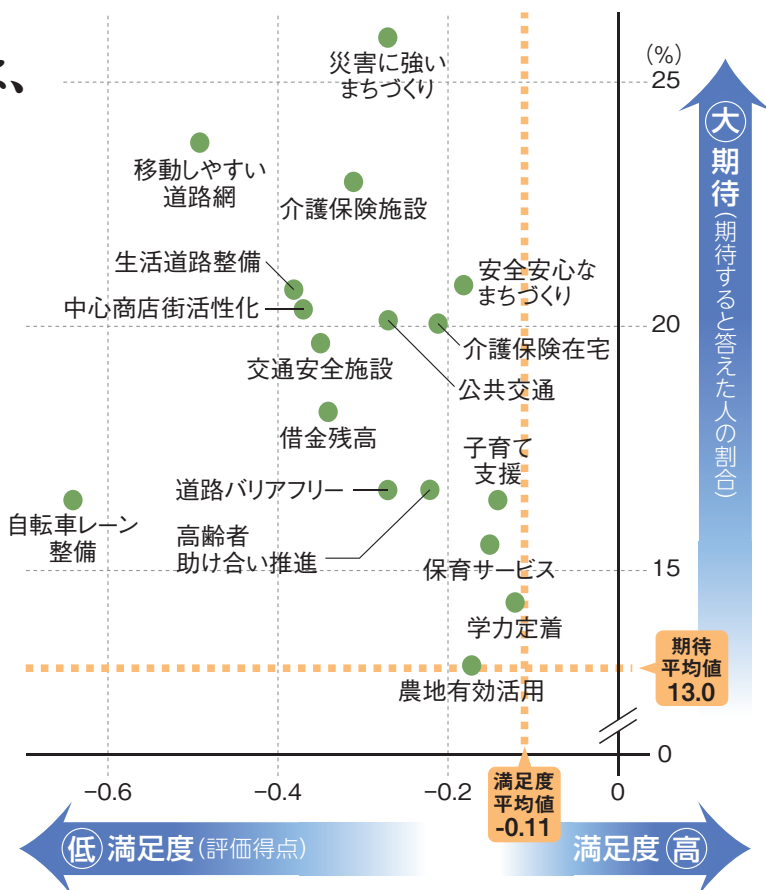
特に求められている施策

満足度が低く、期待が大きいのは、「道路」、「子育て」、「高齢者」施策など

満足度が低く、期待が大きい施策が、生活者としての視点から市民の皆さんに特に求められている取り組みといえます。今回のアンケートでは、17項目となりました。

このうち、道路に関する取り組みが5項目、教育・子育てが3項目、高齢者施策が3項目あり、そのほかには「災害に強いまちづくり」「中心商店街活性化」「公共交通の便利さ」「市の借金残高の削減」などの項目が特に求められている施策として挙げられました。

■市民から特に求められている施策



側溝にふたを掛け歩行者空間を確保(下之宮町) ワーク計画づくりを進め、高い効果が期待される箇所から、自転車道の整備を進めています。

生活道路の整備についても毎年、多くの要望を受けしており、すべての要望にお答えすることは難しい状況

ます。また、狭い道路で側溝にふたをして誰もが安全に歩ける空間の確保や、自転車走行空間のネットワーク計画づくり

です。このため、道路に関わる要望については、各地区で結成された自主選定組織で地域ニーズの高い要望箇所を中心に優先順位を決めていただき、順次整備を進めています。

市では引き続き、誰もが安全・安心で快適に移動できる道路整備を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。



落橋防止装置を取り付け耐震化(馳出町)